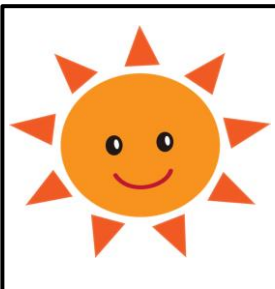


学校だより

# 千載一遇

第12号  
松城中学校  
発行 山里 望



# いよいよ！ 夏休み！

学校の夏休みの歴史は今から約140年前、明治14年に制定された小学校教則綱領第7条で「小学校においては日曜日、夏季、冬季休業日及び大祭日、祝日等を除くのほか授業をすべきものとする。」と定められ、その考え方が現在まで続いています。その時代は農家や自営業が多く、この休みの期間は家の手伝いをするために設けられたと考えられています。また、学校に行けない子どもたちは家計を助けるために大きな間屋などに、丁稚(でっち)（男の子の下働き）、女中（女の子の下働き）といった奉公する習慣があり、この学校の休みの期間にあわせて奉公先から休みがとれる

## 学校には、なぜ夏休みがあるの？

誰もがこれまでに経験したことのない時間の流れの中で、いつもの夏休みがとれないことはとても残念に思っていることでしょう。前号でも触れましたが、夏休みなど学校の休みの期間は、地域の気候に依りてそれぞれ都道府県でその期間を設定しています。全国の中学校の夏休みは概ね25日間と期間がそろっています。が、冬休みは北海道など寒い地方では、25日間と沖縄県よりも長く設定されています。寒さの厳しさは私たち南国の県民には分からないのですが、この冬休みの長さで寒い地方の厳しさを分かち合いたいものです。さて、夏休みに話しを戻し、その意義について考えましょう。

## 短い休みを有意義に！

時間の流れとともに家庭や社会の状況が大きく変化し、この様な歴史も影が薄れ、現在は、歴史に捕らわれず日常の学校生活の一部として認識していることも事実です。



ようになっていたと考えられます。このことから、夏休みは家の手伝いをするために設けられた休みで、農繁期やお盆など祭事に併せ、家の仕事が忙しい時期に設定されていることが覗えます。

## 1学期前半終了！これから

日常の学習を活かし、日頃できないことに挑戦したり、体験したりすること、そしてこれまで気付けなかった家族のことや生活習慣のこと等、自分の周りの色々な良さを知る時間として夏休みを充実させたいものです。

令和2年度が始まり、1学期前半が終了し、これから2学期が始まります。この1学期前半は、コロナの影響で、学校生活が活況を呈していましたが、後半は、夏休みの影響で、学校生活が静かになりました。この1学期前半は、コロナの影響で、学校生活が活況を呈していましたが、後半は、夏休みの影響で、学校生活が静かになりました。この1学期前半は、コロナの影響で、学校生活が活況を呈していましたが、後半は、夏休みの影響で、学校生活が静かになりました。



この1学期前半は、コロナの影響で、学校生活が活況を呈していましたが、後半は、夏休みの影響で、学校生活が静かになりました。この1学期前半は、コロナの影響で、学校生活が活況を呈していましたが、後半は、夏休みの影響で、学校生活が静かになりました。この1学期前半は、コロナの影響で、学校生活が活況を呈していましたが、後半は、夏休みの影響で、学校生活が静かになりました。

この1学期前半は、コロナの影響で、学校生活が活況を呈していましたが、後半は、夏休みの影響で、学校生活が静かになりました。この1学期前半は、コロナの影響で、学校生活が活況を呈していましたが、後半は、夏休みの影響で、学校生活が静かになりました。この1学期前半は、コロナの影響で、学校生活が活況を呈していましたが、後半は、夏休みの影響で、学校生活が静かになりました。